

活動予定一覧

- 7月8日(木) おもちゃ除菌
- 7月9日(金) ボランティア説明会
- 7月22日(木) ぞうさんのおうち布団交換
おもちゃ除菌
- 7月24日(土) おさかなの家大掃除・布団交換
ボランティア説明会
- 7月27日(火) かんがるーの家、ひつじさんのおうち布団交換
- 7月28日(水) ちいさいおうち、みどりのおうち布団交換
- 7月31日(土) 理事会
- 8月6日(金) ボランティア説明会
- 8月12日(木) おもちゃ除菌
- 8月26日(木) おもちゃ除菌
- 9月25日(土) 理事会
- 8月28日(土) ボランティア説明会
- 10月3日(日) JHHHネットワーク会議
- 10月19日(火) ひつじさんのおうち布団交換
- 10月26日(火) かんがるーの家布団交換
- 10月27日(水) ちいさいおうち、みどりのおうち布団交換
- 10月28日(木) ぞうさんのおうち布団交換
- 11月20日(土) オールスタッフミーティング、理事会

From EDITOR

「ファミリーハウス通信」リニューアル第1号が ついに発行まであと一歩までできました(涙)! ヒアリングにご協力いただきました皆様、イラストをご提供くださった山脇百合子さん、そしてNPO「サービスグラント」の事務局&チームメンバー、この場をお借りして感謝申し上げます。

今後、皆様とファミリーハウスをつなぐこの通信が、号を重ねるごとに進化していけるよう、皆様からのあたたかくも厳しいご意見をお待ちしております。(R)

お問い合わせ先
特定非営利活動法人(NPO) ファミリーハウス
 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-19
 TEL: 03-5825-2931 FAX: 03-5825-2935
<http://www.familyhouse.or.jp/>
 e-mail:jimukyoku@familyhouse.or.jp
郵便振替口座名義:「ファミリーハウス」基金
口座番号: 00180-1-654419

パソコンの寄付について

『ファミリーハウス通信』のリニューアルに際し、新しい編集ソフトを使用するために、NEC パーソナルプロダクツ株式会社よりノートパソコンをご寄付いただきました。「通信の編集専用のパソコンができたことで作業の環境がとてよくなりました。よりよい通信をお届けできるように現在編集ソフトの練習中です!」 (和田千尋/スタッフ)

11月20日(土)オールスタッフミーティングを開催します

オールスタッフミーティングは、ファミリーハウスに関わる全ての方々が集まって、情報交換や勉強会をする場です。開催場所や日時などの詳細は追って、通信やホームページでお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

JHHH ネットワーク会議のお知らせ

2010年10月3日(日)名古屋にて、全国の滞在施設運営者の集まるJHHHネットワーク会議が開催されます。開催場所や日時などの詳細は決まり次第、通信やホームページなどでお知らせいたします。

2010年7月1日「認定NPO法人」取得! 寄付が税控除の対象になります

この度、ファミリーハウスは、国税庁から「認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)」として認定を受けました。これにより、2010年7月1日以降にご寄付いただいた場合は、所得税(個人)、法人税、相続税において、税の優遇措置を受けることができます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

次号の通信で、認定NPO法人制度について詳しくご紹介する予定です。

オートレース この事業は、オートレースの補助金を受けて実施したものです。http://ringring-keirin.jp

発行人: 江口八千代(ファミリーハウス理事長)
 編集: 岩部敦子/植田洋子/小山健太
 柳町玲/和田千尋/ボランティアスタッフ
 絵: 山脇百合子
 印刷: 株式会社恒和プロセス

あなたとファミリーハウスをつなぐ季刊誌

夏

ファミリーハウス通信

2010 JUN No.44

ファミリーハウスは小児がんなどの病気の子どもと家族に滞在施設を提供するNPOです。



ファミリーハウスってどこにあるの?

ファミリーハウスの現在の状況をお伝えします!
 来年の春には、新しいハウスが東京都中央区勝どきにオープンする予定です。

東京都世田谷区
ひつじさんのおうち
4部屋

病院から徒歩3分のワンルームマンションです。(株)エイブル、エイブル保証(株)より無償提供されました。(2005年開設)
国立成育医療研究センター専用

東京都新宿区
みどりのおうち
1部屋

病院から徒歩3分のマンション(2K)です。(株)青山キャピタルパートナーズより無償提供されました。(2008年開設)
慶応義塾大学病院専用

東京都台東区
アフラックベアレンツハウス浅草橋
17部屋
受託運営

駅から徒歩1分。24時間ハウスマネージャが常駐しています。(2004年開設)
国立がん研究センター中央病院/慶応義塾大学病院/順天堂大学病院など

東京都台東区
ぞうさんのおうち
1部屋

お寺の敷地内にあるビルの3階(2DK)にあるハウスです。お寺のご住職ご夫妻がハウスオーナーです。(2004年開設)
東京女子医科大学病院など

東京都調布市
かんがるーの家
5部屋

オーナーは家具屋さん。お店の2階にあるハウスです。滞在施設として建てられた第一号のハウスです。(1993年開設)
榊原記念病院/東京都立多摩総合医療センター/国立成育医療研究センターなど

東京都港区
ちいさいおうち
1部屋

都心に利便のよい場所にあるワンルームマンションです。お隣りに住むオーナーが見守っています。(2002年開設)
慶応義塾大学病院など

東京都港区
おさかなの家
5部屋

お寺の境内にある2階建てのハウスです。お寺のご住職がハウスオーナーです。(1994年開設)
国立がん研究センター中央病院/東京慈恵会医科大学付属病院など

東京都中央区
JP ルーム
1部屋

病院から歩ける距離にあります。(株)時事通信社のご協力で女子仮眠室をお借りしています。(2006年開設)
国立がん研究センター中央病院専用

東京都江東区
アフラックベアレンツハウス亀戸
20部屋
受託運営

周辺は生活に便利な商業施設があります。24時間ハウスマネージャが常駐しています。(2001年開設)
国立がん研究センター中央病院/慶応義塾大学病院/順天堂大学病院など

9施設 55部屋
2010年6月現在

FH No.44 2010 June

44号通信原稿20100617(柳町).indd 2-3

10/06/18 20:17

2010年度通常総会が開催されました。

6月12日(土)に、きゅりあん品川区講習室において、2010年度通常総会を開催されましたのでご報告いたします。



基調報告から

NPO ファミリーハウスは1991年創立以来19年、NPO 法人格取得以来11年が経過いたしました。

2009年度は、9施設55室を運営し、1,109家族、延べ10,505人の方々にご利用いただきました。利用者数は前年度より約170家族、3,471人少なくなっております。この大きな要因のひとつは、新型インフルエンザの流行の影響で、予約のキャンセル等があったためと考えられます。しかし、ハウス内で1名の感染者を出すことなくこの時期を乗り越えられたことは、2009年度の特筆すべきこととしてハウスを支えるボランティア、スタッフの皆様のご努力によるものと感謝申し上げます。

2009年度のファミリーハウスは、これまで以上に多様な方々に支えていただきました。

第1にハウス運営事業において、ハウスの大掃除は専門家のハウスクリーニングを含め、17回にのびりました。懸案のペアレントハウス運営のマニュアルの更新も終了し、それをさらに他のハウスでも

生かせるように現在ブラッシュアップしています。ハウスのパソコンメンテナンスやホームページ更新のボランティアも増えました。

第2に、ハウスネットワーク関連においては、全国の運営団体とともに「ハウス運営の質的向上」をテーマに研修を実施しました。

第3に、広報関連では、「通信」のリニューアルに着手しました。(詳しくは右ページをご覧ください)

第4に、2009年3月、認定NPOを申請しました。認定NPOを取得した団体や、NPO会計に詳しい会計士を招聘し勉強会を行いながら、事務作業の基盤作りをしました。認定取得後、また新たな改善が必要になりますが、それが組織の信頼をさらに増していくことにつながると考えています。

この1年間活動を支えてくださいました皆様方にお礼申し上げますとともに、今後ともこの活動にご支援ご協力賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

NPO ファミリーハウス理事長 江口 八千代

決算報告

2009年度収支決算書 2009年4月1日～2010年3月31日				
科目	合計	一般会計	APH受託事業会計費	子育て支援基金会計
【収入の部】				
会費収入	1,513,000	1,513,000	0	0
寄付金収入	27,800,769	27,800,769	0	0
ハウス運営費・相談事業収入	4,272,220	4,272,220	0	0
APH運営受託事業収入	32,322,791	0	32,322,791	0
助成金収入	5,354,932	1,705,414	0	3,619,518
雑収入	0	0	0	0
その他収入	79,114	77,443	1,151	520
【収事合計】	71,312,826	35,368,846	32,323,942	3,620,038
【支出の部】				
ハウス運営費・相談事業収入	24,191,335	24,191,335	0	0
APH運営受託事業費	30,751,467	0	30,751,467	0
広報活動費	1,675,875	1,675,875	0	0
ネットワーク会議費	1,706,263	1,706,263	0	0
子育て支援基金助成事業費	4,120,285	0	0	4,120,285
管理費	202,121	202,121	0	0
修繕建設積立	8,000,000	8,000,000	0	0
【支出合計】	70,647,346	35,775,594	30,751,467	4,120,285
【収支差額】	665,480	△406,748	1,572,475	△500,248

単位：円

2010年度収支予算書 2010年4月1日～2011年3月31日				
科目	合計	一般会計	APH受託事業会計費	子育て支援基金会計
【収入の部】				
会費収入	500,000	500,000	0	0
寄付金収入	35,300,000	35,300,000	0	0
ハウス運営費・相談事業収入	3,800,000	3,800,000	0	0
APH運営受託事業収入	36,000,000	0	36,000,000	0
助成金収入	5,220,000	1,874,000	0	3,346,000
雑収入	0	0	0	0
その他収入	105,000	93,000	10,000	2,000
【収事合計】	80,925,000	41,567,000	36,010,000	3,348,000
【支出の部】				
ハウス運営費・相談事業収入	38,760,000	38,760,000	0	0
APH運営受託事業費	35,949,000	0	35,949,000	0
広報活動費	2,500,000	2,500,000	0	0
ネットワーク会議費	500,000	500,000	0	0
WAM(旧子育て)助成事業費	3,346,000	0	0	3,346,000
管理費	210,000	210,000	0	0
修繕建設積立	500,000	500,000	0	0
【支出合計】	81,765,000	42,470,000	35,949,000	3,346,000
【収支差額】	△840,000	△903,000	61,000	2,000

単位：円

“みんなをつなぐ”通信に生まれ変わります。

NPO ファミリーハウスは来年で20周年。これを機に、通信の大リニューアルプロジェクトが進行中。その中身をご紹介します。

“みんなを支える”というファミリーハウスのホスピタリティを伝えたい

1991年にファミリーハウスの原型となる活動が始まり、その翌年には「ファミリーハウス通信」第1号を発行。それから、19年。現在は毎月約3000部発行するほどに、大きく成長しました。

まもなく活動20周年を迎えるにあたり、編集スタッフで考えた事。それは、“ファミリーハウスを利用するご家族を、みんなで支え合う”という、ファミリーハウスが最も大切にしているホスピタリティを、誌面でもっと伝えていきたい。そのために、「見た目も中身も読みやすい」誌面へと、今号から大幅にリニューアルしました。

たくさんの方にご協力いただきリニューアル第1号が完成

リニューアルにあたり、NPO「サービスグラント」に協力を依頼。記事の企画や原稿作成、デザインなど、各方面のプロフェッショナル5名が、ボランティアとして参加しました。

まず、現在の通信がどのように読まれているのかを把握するために、ファミリーハウスに関わる人から全くファミリーハウスを知らない一般の人まで、

25名の方にヒアリング調査を実施。「自分が関わっていない場のことだからわかるのでいつも読んでいないか」という意見の一方で、「活動報告が毎月似ているのではないか」など、貴重な意見を多数いただきました。

こうした調査報告をもとに、今号からは、あらゆる年代の人に読みやすい通信にするために、デザインやレイアウトを刷新し、文字も拡大しました。また、今号から表紙の題字脇や挿絵に使用しているのは、すべて「ぐりとぐら」でおなじみの山脇百合子さんのイラストです。「自分にできることで皆さんの役に立てるのなら、こんなに嬉しいことはないのです」と、かわいらしいイラストをたくさん書き下ろしてくださいました！

今後は、コンテンツや記事の中身をより充実したものにするために、文章講座なども随時開催予定です。スタッフのスキルアップにも、これまで以上に力を入れていきます。

ファミリーハウスに協力してくださっている皆様のご寄付や活動が、どのように利用者を支えているのか。活動に関わるボランティアやスタッフ、そしてハウスを利用する方すべてが、ファミリーハウスといつもつながっていただける…。そんな通信にしていきたいと、考えています。また、今号から4カ月に1回の季刊誌となります。ぜひご期待ください！

(柳町玲/理事)



寝具の定期交換をしました。

3ヶ月に一度の寝具交換が、無事終了しました。
清潔な布団でゆっくり休んでもらいたいと、定期的に寝具交換を行っています。

ファミリーハウスが運営する各ハウスでは、3カ月に一度、すべての寝具を交換する作業をしています。これは、入院中の子どもに1日中付き添い、夜遅く疲れて帰宅するご家族に、清潔でふかふかのお布団でゆっくり休んでもらいたい、また免疫の低い患児さんにも安心して宿泊してもらいたい。そんな思いから、メイスン財団の助成を得て行っているものです。

今年2回目の定期交換は、4月下旬に一齐に行われました。寝具の交換作業は、布団袋の搬入・搬出などを伴うちょっとした力仕事なので、ボランティアの方々の協力が欠かせません。今回「おさかなの家」では、企業ボランティアの方々12名のご協力をいただき、寝具交換のあとに大掃除も行う事

ができました。寝具の定期交換は、『利用者が安心・安全に過ごせるハウス』をボランティアと共につくる大事な日となっています。次回の寝具交換は、梅雨が明けた7月を予定しています。

(西田佳子/ハウスマネージャ)



「そうさんのおうち」は畳のお部屋。布団を並べて家族で川の字で寝ることができます。右はオーナーの森下さん

すみずみまで、徹底除菌！春の大掃除。

ハウスでは、治療中の子どもと家族のために、定期的な大掃除を企画しています。今年の4月には、のべ70名が参加して4つのハウスで春の大掃除を行いました。

「ボランティア週間の一環として、少しでもハウスをきれいにしてお手伝いをしたい！」と名乗り出てくださった4社の社員たち。アメリカンファミリー生命保険、シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社、武田薬品工業株式会社、ノバルティスファーマ株式会社の社員の皆様がお手伝いに駆けつけてくれました。

春の大掃除は、照明や天井のような高い場所から、キッチンの換気扇・食器棚の隅まで、普段なかなか手の行き届かない場所が、中心となります。特に子どもたちが使うおもちゃは、一つひとつ丁寧にクリーナーで拭き取り、徹底的に除菌。ほこりやカビは治療中の子どもには大敵、子どもを守るために、こうした除菌はとても重要な活動として、ハウスの

中では位置づけられています。

参加したメンバーからは、「利用者のことを考えて、掃除をしているという事を知りました」、「今度は、うちの子どもと一緒に参加したい」など嬉しいコメントが続々。参加された皆様、ありがとうございました。(知久佳子/ハウスマネージャ)



上から下まで協力して掃除をします。「おさかなの家」リビングにて。

利用者を迎えるための ウェルカムキット作り。

桜が咲く4月のある日、都内のホテルに約300名の会社員の姿が。この日は、ヤンセンファーマ株式会社の社内会議の1プログラムとして、「ウェルカムキット」作りが行われました。タオルや絆創膏、入浴剤などの物品を寄付していただき、各品をラッピングしてセットにする作業です。品物を入れるトートバックには、布用ペンで子どもが喜びそうな絵をつけました。丁寧に絵を描いたり、ラッピングのリボンを結んで完成！約150個が各ハウスに送られました。

ハウスで、ウェルカムキットを利用者に渡すと「バック、かわいいね。入浴剤を入れて今日はお風呂



に入ろう！」子どもの弾んだ声と笑顔が見られました。

(知久佳子/ハウスマネージャ)

インターネットでの寄付が さらに便利になりました！

2010年3月から、インターネットから24時間寄付できる、「CANPAN ペイメント」という仕組みを導入しました。

【CANPAN ペイメント】

- ・インターネットを利用してクレジットカードで寄付ができるシステム。
- ・使用可能クレジットカードは、VISA、Master。

また、これまで通り、GiveOne という同様のインターネット寄付システムや、郵便局からの振替用紙による寄付も引き続き可能です。ご都合のよい方法をご利用ください。

詳しくは、ファミリーハウスのホームページ「ご支援のお願い」のコーナーをご覧ください。今後とも、活動へのご支援をよろしくお願いいたします。



From Volunteer Room ①

「ボランティアルーム」では、ハウスを利用する人を支える活動をしています。

がんばっているお母さんのために —母の日ラッピング—

「ボランティアルーム」では、ハウスを利用する子どもたちに贈るクリスマスプレゼント作りから、各ハウスで使用するベッドカバー作り、さらには新しい本にフィルムを貼る「ブッカーかけ」の作業まで、ハウスを利用する人のことを考えながら、ボランティアの人たちが自らの手を使って、ひとつひとつの作業を行っています。

今年は、5月の1ヶ月間を「母の日月間」と位置づけ、「いつもがんばっているお母さんたちにプレゼントを贈り、喜んでもらおう」と、ラッピング作業を企画。寄付で頂いたエコバックやアルバム・ノート等を、ラッピングしました。「お母さんたちへのプレゼントはいいわね」「どの品物

の組み合わせがいいかしら？」と、作業する人たちもなんだか楽しそう。プレゼントを渡されたお母さんたちも、「子どもにではなく、私にですか？」と、とても喜んでくださいました。

利用する人たちを思いながら、ボランティアをする人も一緒に楽しめる作業を、今後も企画。問い合わせ先：ファミリーハウス事務局まで。

(知久佳子/ハウスマネージャ)



ラッピングしたプレゼント。手作りの折り紙でつくったカーネーションを添えて。



Let's Study Vol. 13

国立国際医療研究センター
沼直美先生

夏に流行「細菌性胃腸炎」について知ろう

感染性胃腸炎は、大きく細菌性とウイルス性に分けられます。今回は、これから夏場にかけて流行する細菌性胃腸炎についてお話いたします。

細菌性胃腸炎の70～80%は7月～10月に発生し、その原因のほとんどが食品に付着した菌や産生された毒素を経口摂取することによって発症します。大きくわけて感染型と毒素型に分けられます。感染型は、食品中に混入して増殖した原因菌が腸管内でさらに増殖することによって発症します。原因菌はサルモネラ、腸炎ビブリオ、カンピロバクター、病原性大腸菌などで、下痢や腹痛を主症状とします。毒素型は、食品の中で増殖した原因菌が毒素を産生し、この毒素で汚染された食品を摂取することで発症します。感染型に比べて潜伏期間が短く、吐き気や嘔吐を主症状とします。

細菌性胃腸炎は、数時間で軽快するものから、敗血症ショックや髄膜炎など重篤化する場合もあり

ます。特に小児や高齢者、免疫力が低下した人の場合は感受性が高いので注意が必要です。

多くの胃腸炎は食品を介して感染するので、対策の中心は食中毒対策です。具体的には、食品の管理（肉や卵は十分に加熱。魚介類は冷蔵庫に保管。生野菜は十分に洗う。冷蔵庫を過信しない）、調理器具の管理（生の肉と魚はまな板を区別。調理器具は清潔に管理）、調理する人の管理（手指の化膿病変がある場合や消化器症状のある場合は調理を避ける）、調理後の食品の管理（早く食べきる。保存する場合は早めに冷蔵）など基本的な対策になります。

また、感染者からの二次感染やペットを介して感染する菌もあります。感染者やペットとはある程度の距離を保つこと、ペットに触れた後の手洗いの励行が重要ですので、是非実行してください。

今回は、冬季に流行するウイルス性胃腸炎についてお話いたします。

ハウスの利用状況

2010.1.1～2010.4.30

春休みを利用して治療や検診に訪れるご家族がたくさんいらっしゃいました。

施設名	部屋数	延利用泊数	延利用人数
かんがる～の家	5	83	130
おさかなの家	5	215	247
ちいさいおうち	1	48	93
ぞうさんのおうち	1	49	93
ひつじさんのおうち	4	421	542
みどりのおうち	1	78	95
JP ルーム	1	0	0
アフラックベアレンツハウス 亀戸	20	625	897
アフラックベアレンツハウス 浅草橋	17	543	787
合計	55	2,062	2,895



利用者からのおたより

～千葉県のお母さんより～

4月に息子が約5ヶ月の入院生活を終え退院することができました。

甘えん坊でワガママな息子が、母に充分甘えながら病氣とたたかい、落ち着くことができたのもハウスを利用させていただけたおかげです。前回の入院では、急速退院となったため、みなさまにご挨拶もできず、気になっていました。今回はすっきり帰ることができました。本当に、本当にありがとうございました。

4月で息子は2歳になりました。入退院を繰り返していた毎日。誕生日を初めて家で過ごせそうで今からわくわくしています。



利用者みなさんをあたたかく迎えたい！ ウェルカムボランティアを始めました。

昨年12月から亀戸と浅草橋の2つのハウスで、利用者のチェックインを手伝うボランティア、通称「ウェルカムボランティア」がスタートしました。

ウェルカムボランティアは、上京した利用者が道に迷わないようお迎えに行く、到着時にお茶を淹れてあたたかく出迎えるためのボランティアです。

不安と緊張でいっぱいの利用者に、自分の家のように安心してくつろいでいただくためには、小さなおもてなしもきっと必要に違いない。そう信じて目下取り組み中です。「これだったら私でも出来るかも」という方、ぜひ参加してみませんか？活動時間は、①17時～19時 ②19時～21時のいずれか、月1～2回の参加で構いません。稀に利用者のチェックインがキャンセルになる場合があります

が、その時は手仕事など、他の活動をお願いいたします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

(知久佳子/ハウスマネージャ)



あたたかいご支援、ありがとうございました

いつもご支援をくださる、個人の方、企業・団体の皆様、本当にありがとうございます。2010年1月から2010年5月末までに各種支援をいただいた企業・団体のお名前を掲載いたします。スペースの関係上、すべての皆様をご紹介できませんことをご承知ください。なお、個人の方のお名前は、ご承諾いただいた方のみ、年1回まとめて掲載させていただきます。

◆資金のご支援をいただきました

(50音順・敬称略)

赤ちゃんカレンダー推進委員会、アクセンツ・イン・タイル株式会社、アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、株式会社エイブル、MSIGスマイルハートクラブ、幼き聖マリア修道会、カトリック聖心侍女修道会五反田第二修道院、興禅寺、ゴールドマン・サックス証券株式会社、三和グループ社会貢献倶楽部、枝光会駒場幼稚園母の会、株式会社JIM COMPANY、浄土宗東京教区教務所、浄土真宗本願寺派仏教婦人会総連盟、隨應寺、巢鴨ときわ教会、住友生命保険相互会社、聖心女子学院聖心五月会、聖心女子専門学校MAMS委員会、損保ジャパンちきゅうくらぶ、大松寺、武田薬品工業株式会社、千代田区社会福祉協議会、東京紀尾井町ライオンズクラブ、財団法人東京メソニック協会、日本キリスト教団足利教会「土曜チャーチ」、フォーラム東富士の会、富士ゼロックスシステムサービス株式会社、富士ゼロックスシステムサービス株式会社ボランティア基金、雙葉学園同窓会、ボーイスカウト立川第7団ベンチャー隊、財団法人毎日新聞東京社会事業団、ヤンセンファーマ株式会社、ユニハート、社会福祉法人陽光福祉太陽の子保育園、ラッセル・インベストメント株式会社、隆崇院

◆物品のご支援をいただきました

(50音順 敬称略)

イスクラ薬局中野店、榎原記念病院医療連携室、財団法人さわやか福祉財団、株式会社ジャパンエナジー、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、株式会社新生銀行、聖心女子大学同窓会宮代会、セガサミーホールディングス株式会社、大信実業株式会社、株式会社大和証券グループ本社、株式会社ドルチェ、日本メドトロニック株式会社、株式会社福音館書店、ポールヘイスティンクス法律事務所・外国法共同事業、株式会社三井住友銀行、メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン、ヤンセンファーマ株式会社、ユニ・チャーム株式会社、ユニ株式会社アビタ戸塚店、株式会社リコー、株式会社良品計画

◆ボランティア活動でご協力いただきました

(50音順・敬称略)

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、NPO サービスグラント、ゴールドマン・サックス証券株式会社、株式会社サンメディア、シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社、武田薬品工業株式会社、株式会社ディ・エフ・エフ、東京海上日動火災保険株式会社、日本ユニシス株式会社、ノバルティス ファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社